

## 慣用句

『開いた口がふさがらない』

意味：びっくりしたり、あきれてものが言えない。

使い方：もらったお年玉を一日で全部使うなんて、開いた口がふさがらない。

ひとつこと：「いつまでもしゃべる」という意味ではないので注意！

『息を殺す』

意味：息をとめるようにしてじっとしている。

使い方：かくれんぼで鬼に見つからないように、ドアのかげで息を殺していた。

ひとつこと：同じような使い方をする言葉に『息をひそめる』や『息をこらす』がある。

## ことわざ

『悪事千里を走る』

意味：悪いことは、どんなにこっそりやってもすぐに知れわたってしまう。

使い方：悪事千里を走るで、「彼が怪しい」ということはすぐに広まってしまおう。

ひとつこと：「里」は距離をあらわす単位。そこから、「千里」とは長い道のりという意味。

『あぶはち取らず』

意味：あれもこれもと欲張ると、かえってどちらも失敗してしまう。

使い方：ピアノもバレエもどちらも習いたかったが、母に「あぶはち取らずになる」と言われ、ピアノはあきらめた。

ひとつこと：「あぶ」も「はち」も虫。このことわざと似た意味のものとして『二兎を追う者は一兎をも得ず』がある。

## お知らせ

「今月の重大ニュース」は、みなさんのご要望により、今月から下の高校生のコーナーに移動しました。

2005年4月中学生